

あおぞら銀行 (証券コード:8304)

進化する

「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」を目指して

取締役専務執行役員

チーフファイナンシャルオフィサー (CFO)

関澤 行雄

2018年3月3日





1. あおぞら銀行の概要



2. あおぞら銀行の目指す姿



3. あおぞら銀行株式への投資の魅力

(注) 本資料は、特段の記載がない限り、連結ベースで記載しております。



1. あおぞら銀行の概要

- 1-1. 概要
- 1-2. あゆみ
- 1-3. ネットワーク
- 1-4. 主な子会社
- 1-5. 株主構成
- 1-6. コーポレートガバナンス

1-1. 概要 ①

◆ 全国で業務展開。系列色のない中立的な銀行



商号	株式会社あおぞら銀行
上場証券取引所	東証1部（8304）
設立	1957年
本店所在地	東京都千代田区麹町6-1-1
代表者名	代表取締役社長 馬場信輔
総資産	4兆8,162億円 ^{*1}
純資産	4,362億円 ^{*1}
自己資本比率	10.86% ^{*1,2}
従業員数	1,785人 ^{*3}

*1 連結、2017/9末

*2 銀行の自己資本規制に基づく算式による比率

*3 単体、2017/9末

1-1. 概要 ②

	総資産 (兆円)	時価総額 (億円)	PBR (倍)	PER (倍)
三菱UFJFG	305.5	114,091	0.7	10.4
みずほFG	209.5	52,125	0.6	9.1
三井住友FG	204.3	68,997	0.7	8.5
りそなHD	48.8	15,276	0.7	6.5
コンコルディアFG	18.6	8,511	0.7	12.4
千葉銀行	14.0	8,265	0.8	13.9
あおぞら銀行	4.8	5,228	1.2	12.3

(出所) 総資産：決算短信（2017/9末）
時価総額、PBR、PER：Bloomberg（2018/1/31現在）

1-2. あゆみ

日本不動産銀行

日本債券信用銀行



あおぞら銀行

1957

長期信用銀行法に基づき『日本不動産銀行』設立

1977

『**日本債券信用銀行**』に銀行名を変更

1998

一時国有化

2000

再民営化、公的資金の注入

2001

『**あおぞら銀行**』に銀行名を変更

2006

普通銀行に転換、東証1部再上場

2015

公的資金の一括返済（完済）

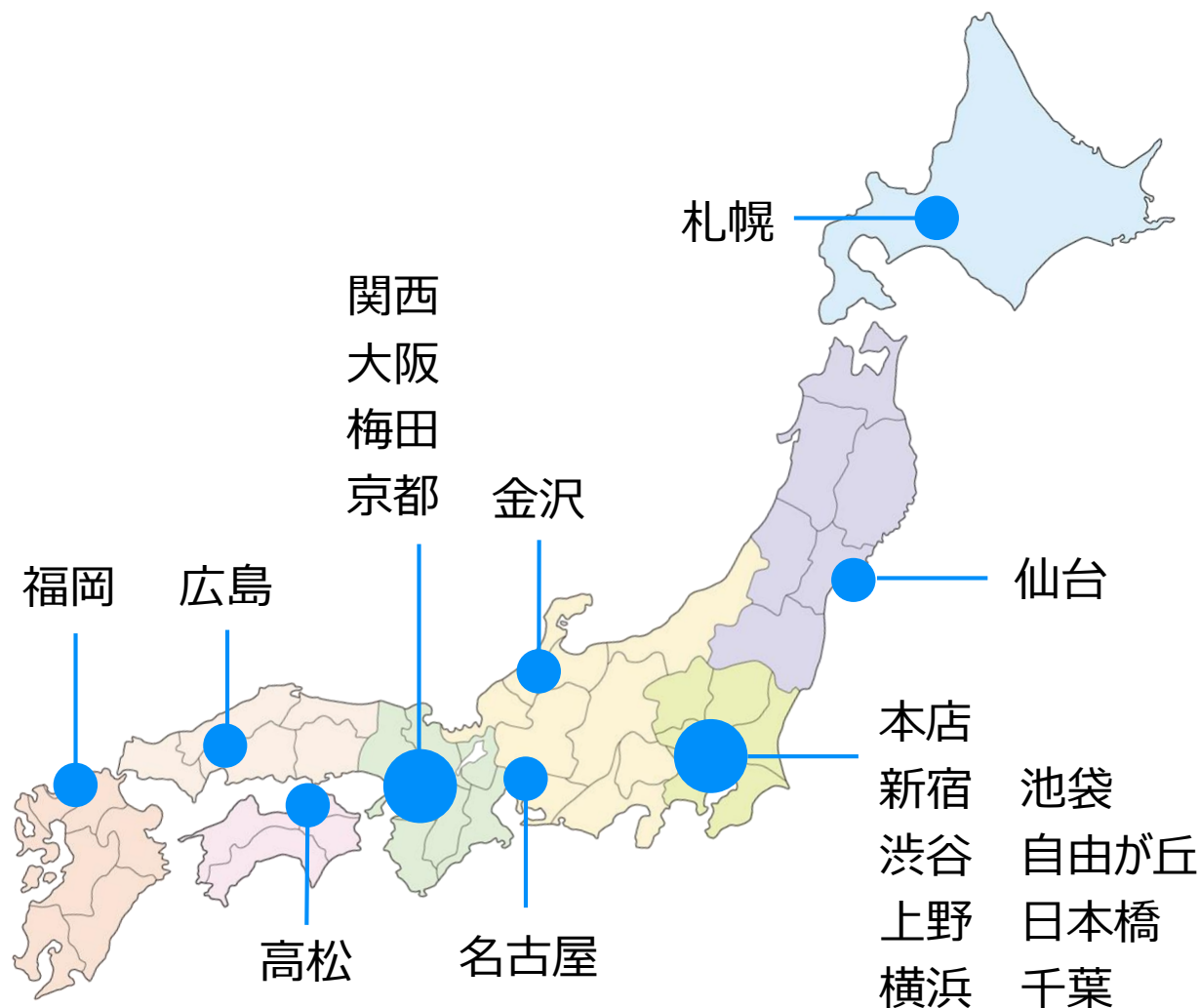
2017

本店移転



1-3. ネットワーク（国内）

◆ 全国の主要都市でサービスを提供



- 20本支店*
- 1出張所

<その他のチャネル>

- ◆ コールセンター
- ◆ インターネットバンキング
- ◆ ゆうちょ銀行・郵便局
ATM（27,561台）

* インターネット支店含む
（2017/3末）

1-3. ネットワーク（海外）



1-4. 主な子会社

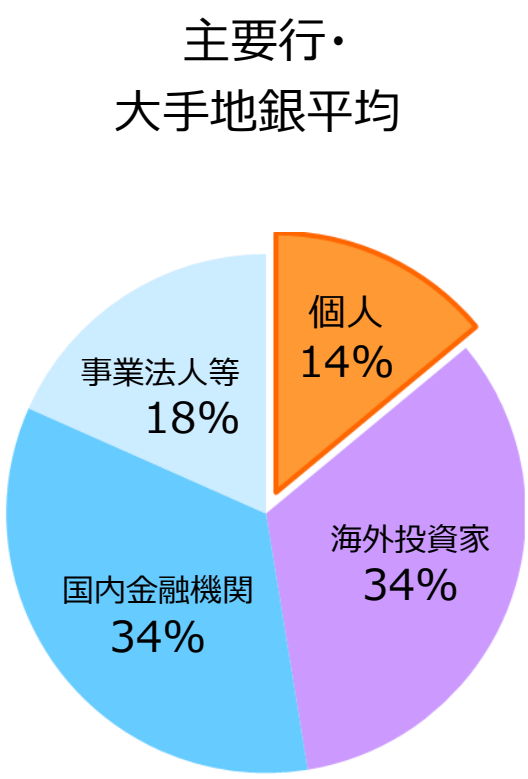
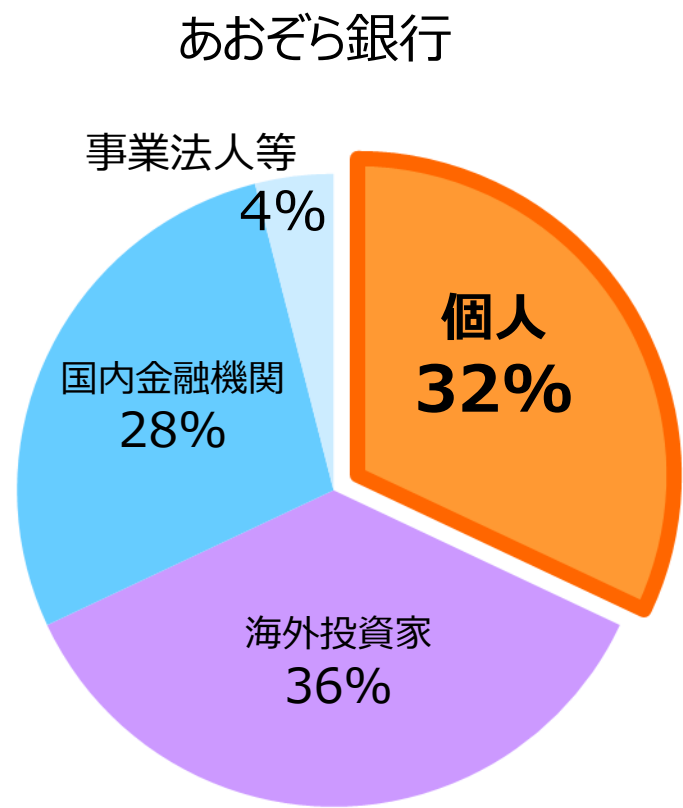
◆ 子会社と一体で、商品・サービスを提供



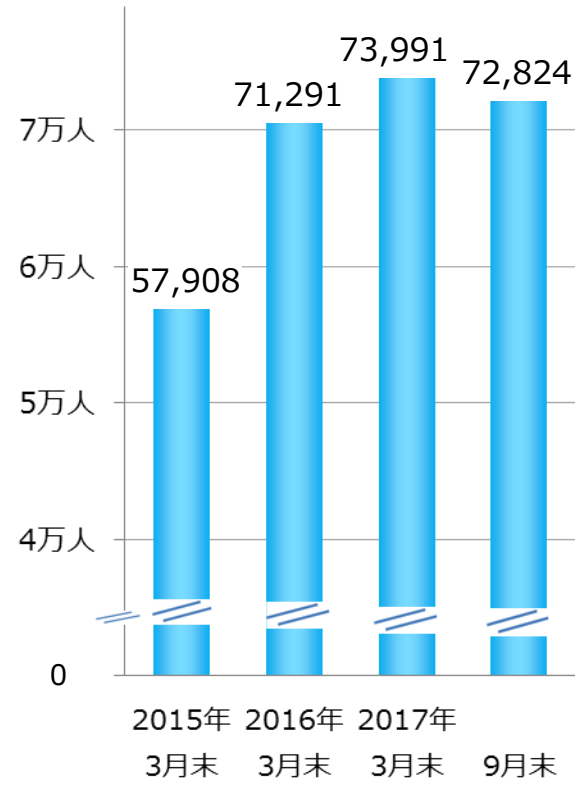
* 2018年6月に「GMOあおぞらネット銀行」に社名変更の予定

1-5. 株主構成

◆ 高い個人株主の比率



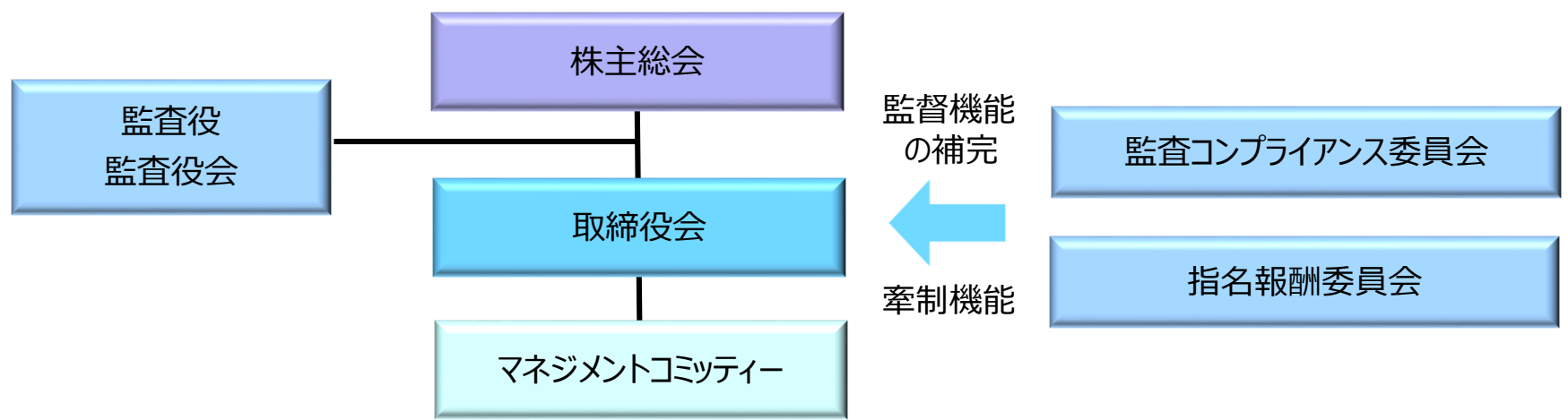
(参考) あおぞら銀行
個人株主数



出所：当行（2017/9末）、他行（有価証券報告書 2017/3末）
主要行は、三菱UFJFG、みずほFG、三井住友FG、りそなHD、三井住友トラストHD、新生銀行
大手地銀は、コンコルディアFG、ふくおかFG、めぶきFG、千葉銀行、ほくほくFG（総資産上位5社）
比率は個人・海外投資家・国内金融機関・事業法人等の所有株式数(単元)を合計株式数(単元)(自己株式除く)で除して算出

1-6. コーポレートガバナンス

◆ 牽制の効いたガバナンス体制



<取締役> 8名中4名が社外取締役

取締役 会長	福田 誠 元全国地方銀行協会副会長・専務理事
代表取締役 社長	馬場 信輔 1977年入行
代表取締役 副社長	齋藤 猛雄 1982年入行
取締役 専務執行役員	関澤 行雄 1984年入行

社外取締役	竹田 駿輔 元オリックス取締役兼執行役副会長・グループCFO
	水田 廣行 元りそな銀行代表取締役社長
	村上 一平 元日清製粉グループ本社代表取締役社長
	伊藤 友則 現一橋大学大学院教授

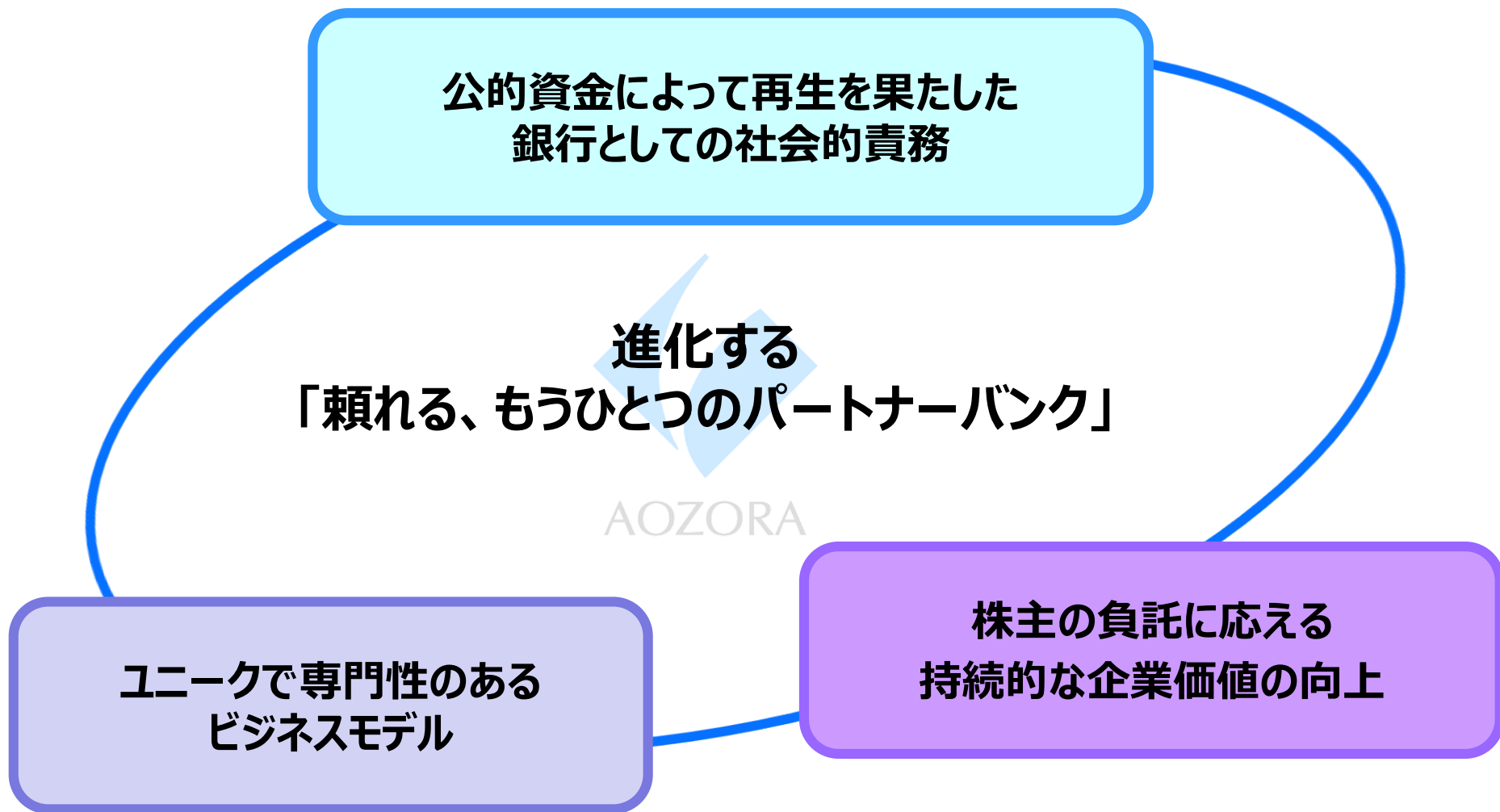


2. あおぞら銀行の目指す姿

- 2-1. 目指す姿
- 2-2. 注力業務
- 2-3. 業績のポイント
- 2-4. 今後の運営・経営基盤強化

2-1. 目指す姿

(1) 経営方針



2-1. 目指す姿

(2) ビジネスモデル – 6つの柱に注カー

ユニークな金融サービスの提供

シニア層に最も注力した
個人業務

企業向け
課題解決型営業

地域金融機関
パートナーシップの深化

専門性の一層の発揮

スペシャルティファイナンス
の進化

国際業務の持続的成長

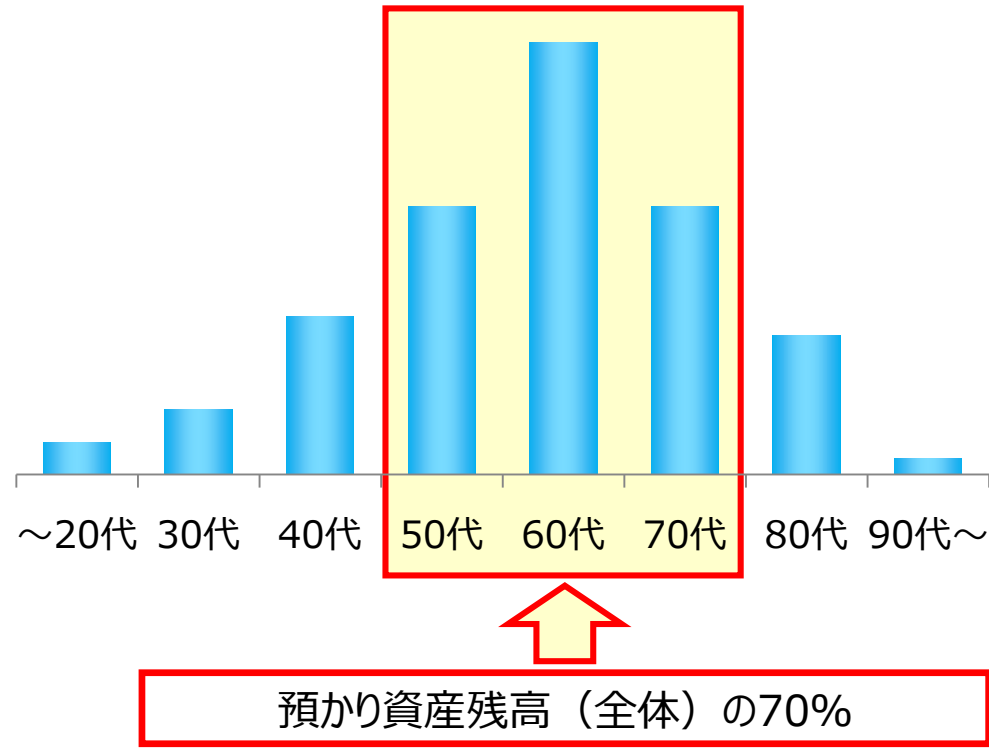
マーケット業務

2-2. 注力業務

(1) 個人業務 ①

◆ 当行の顧客基盤は50-70代のお客さま

＜年齢別預り資産*残高＞



＜平均預金残高＞

お客さま1人当たり 預金残高	
あおぞら銀行	530万円
国内銀行平均**	56万円

* 預金 + 投資性商品(投資信託+保険+仕組債) (2017/9末)

** 出所：日本銀行統計(2017/9末)
預金者別預金(個人)より金額合計/口数合計

2-2. 注力業務

(1) 個人業務 ②

◆ 商品ラインアップの拡充

資産運用相談業務

預金

投資信託

保険

仕組債

気付いたら、
ライブは見るものじゃなくて、
やるものになっていた。
63歳 サックス歴7年
Brilliant 60sを、ごいっしょに。
当行と初めてお取引いただく満50歳以上の
お客さま限定の円定期預金です。

Brilliant 60s 定期SP
ブリリアント・シックスティーズ（一部解約可能型定期預金）

Brilliant 60s 定期SPについてのご留意事項

- 満期日前に一部解約ができます。●満期日自動解約型。但し、満期日に元利金を、その残高に応じて同一預入期間のスーパー定期（自動繰越型）またはスーパー定期300（自動繰越型）に預替します。預替後は、満期日前の一部解約はできません。
- 預替後の利率は、預替した商品の預替日における店頭表示利率を適用します。
- この商品にはお預け入れ期限があります。●Brilliant 60s定期LPとあわせてお1人さま1回のご利用とします。●店舗（窓口）・テレフォンバンク等でのご利用となります。●適用金利は、見直し場合があります。実際に適用される金利は預入時点の金利となりますので、記載した金利と異なる場合もあります。●元本保証です。
- 中途解約時の取扱いや、お預け入れ期限を含むこの預金の詳細、および預替後の預金の詳細については、店舗（窓口）および当行ホームページにご用意しております説明書（商品概要説明書、ならびに預金規定）をご覧ください。

当行と初めてお取引いただく満50歳以上のお客さま限定です。
*当行とはお取引の「日本貨幣信用銀行」および「日本不動産銀行」を指します。

円定期預金 Brilliant 60s 定期SP
ブリリアント・シックスティーズ（一部解約可能型定期預金）

2018年1月1日（月）現在の適用金利

- 一部解約ができる定期預金です。
- 中途解約しても、適用金利が下がりにません。（預入される場合）

期間 **3ヶ月** [単利型]

年0.5%

税引後年0.398%
【預入金額500万円以上5,000万円まで】

Brilliant 60s 定期SPについてのご留意事項

- 満期日前に一部解約ができます。●満期日自動解約型。但し、満期日に元利金を、その残高に応じて同一預入期間のスーパー定期（自動繰越型）またはスーパー定期300（自動繰越型）に預替します。預替後は、満期日前の一部解約はできません。
- 預替後の利率は、預替した商品の預替日における店頭表示利率を適用します。
- この商品にはお預け入れ期限があります。●Brilliant 60s定期LPとあわせてお1人さま1回のご利用とします。●店舗（窓口）・テレフォンバンク等でのご利用となります。●適用金利は、見直し場合があります。実際に適用される金利は預入時点の金利となりますので、記載した金利と異なる場合もあります。●元本保証です。
- 中途解約時の取扱いや、お預け入れ期限を含むこの預金の詳細、および預替後の預金の詳細については、店舗（窓口）および当行ホームページにご用意しております説明書（商品概要説明書、ならびに預金規定）をご覧ください。

* パンフレットや配布チラシ等は、当行の業務内容をご理解頂くための見本であり、個別商品の勧誘を目的とするものではありません。
また最新のものではない可能性がございますので、ご注意下さい。

2-2. 注力業務

(1) 個人業務 ③

◆ 都会のオアシス



2-2. 注力業務

(1) 個人業務 ④

◆ お客様本位の業務運営の推進

- 専門性の高い丁寧なコンサルティング
- コンサルティング力の向上
 - ✓ 外部人材採用
 - 継続的な研修実施

＜投資性商品残高＞



* 投資信託・保険・仕組債の運用資産残高

** 投資性商品残高／個人調達（預金・債券）残高

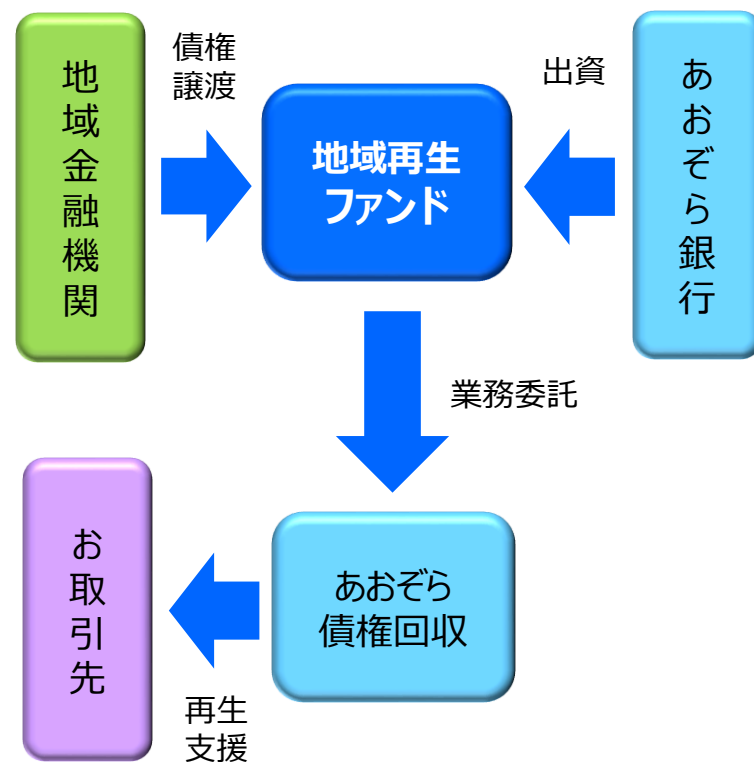
2-2. 注力業務

(2) 金融法人業務

◆ 地域金融機関ネットワークを活用 幅広いトータルソリューションを提供

- 地域金融機関の運用ニーズへの対応
デリバティブ内蔵商品・私募投信の販売
- 事業再生・地方創生取組への貢献
再生ファンド等の活用

事業再生スキーム概要



(3) 企業向けファイナンス ①

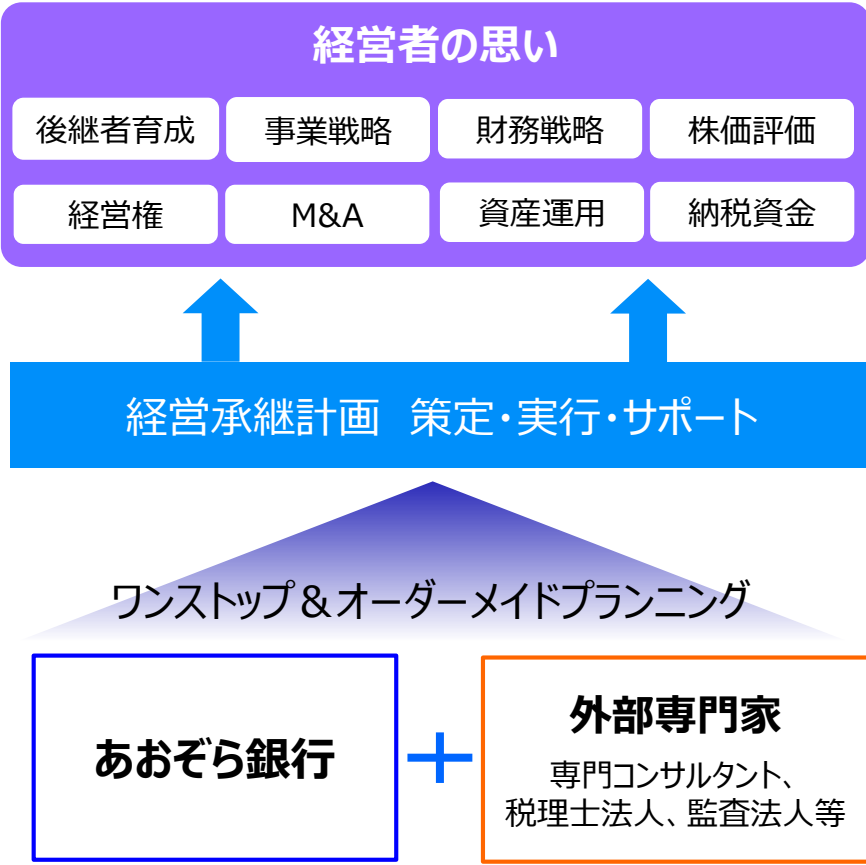
◆ 課題解決型営業の深化

- 事業法人のヘッジニーズに対応
- 事業承継のサポート等

◆ クロスボーダーM&A等
取引機会の提供

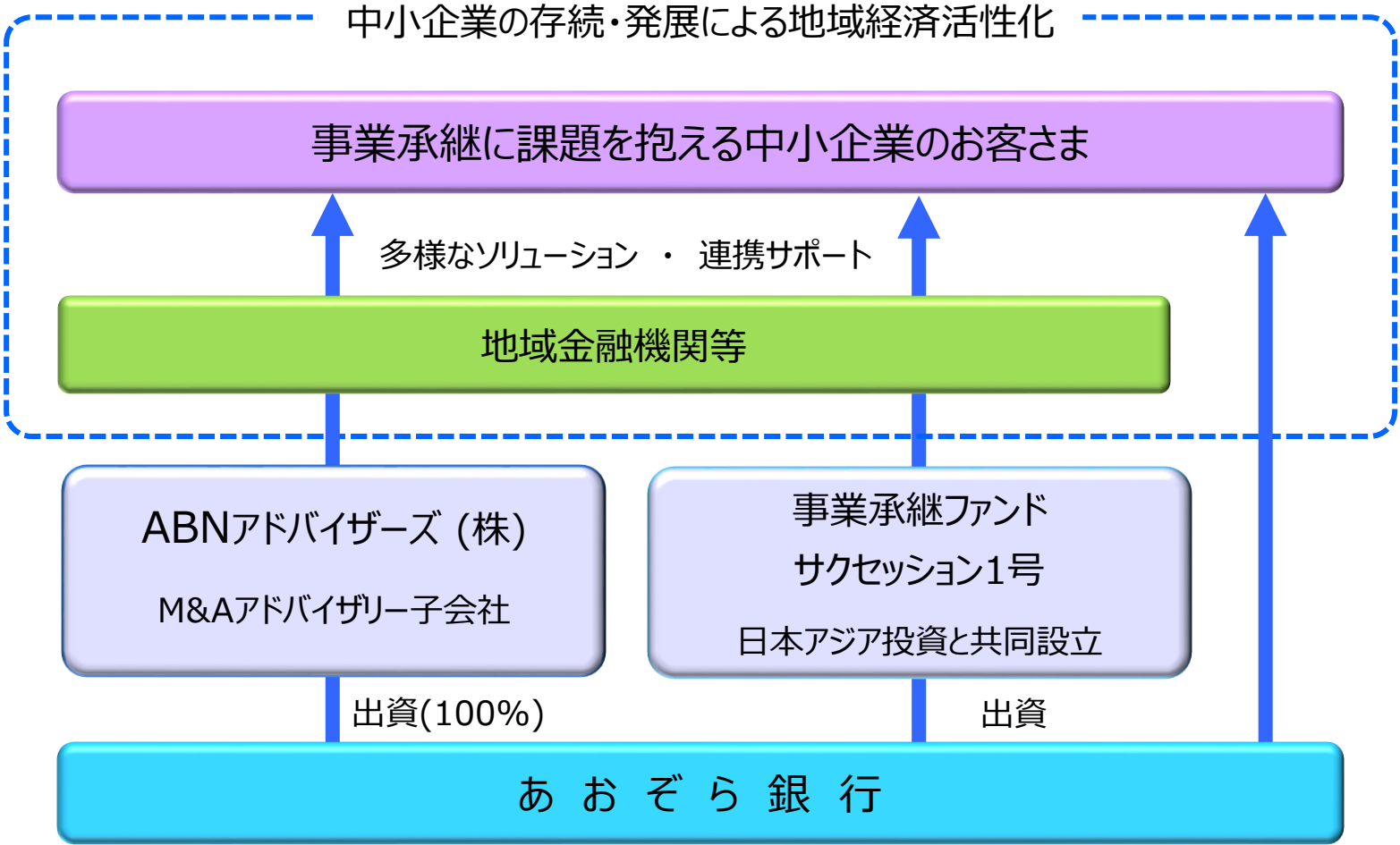
- アジアの有力銀行との提携
ネットワークの拡充

経営承継プログラム「襷」



(3) 企業向けファイナンス ②

M&Aの活用による事業承継のサポート



(4) スペシャルティファイナンス／国際業務

◆ 専門性を活かした 高付加価値案件の開拓

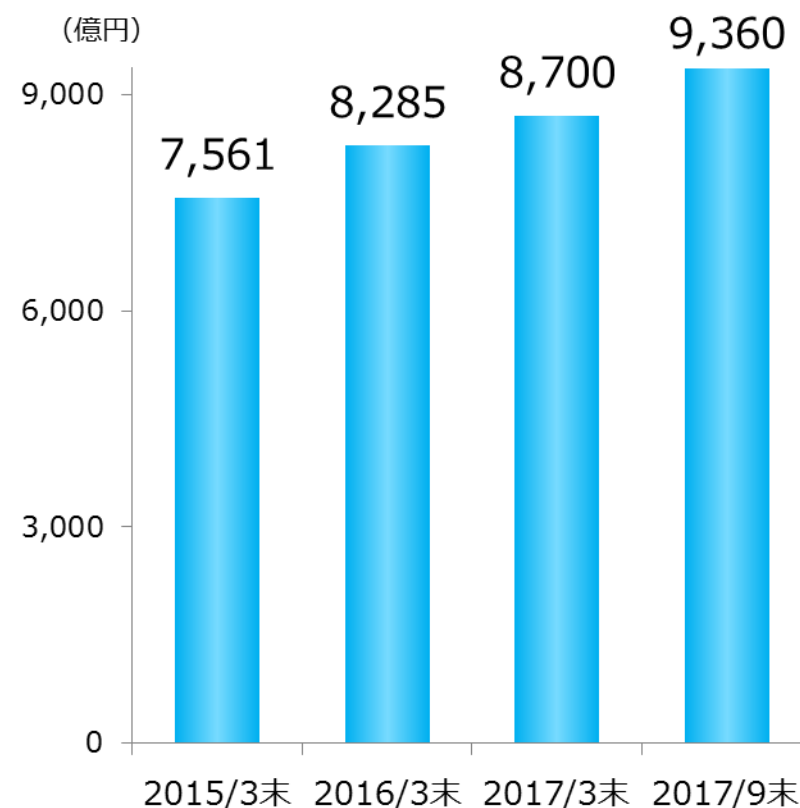
- 再生ファイナンス・
不良債権投資の推進

◆ 海外向け貸出の選択的な 取上げ

- 北米中心
リスク・リターンを重視

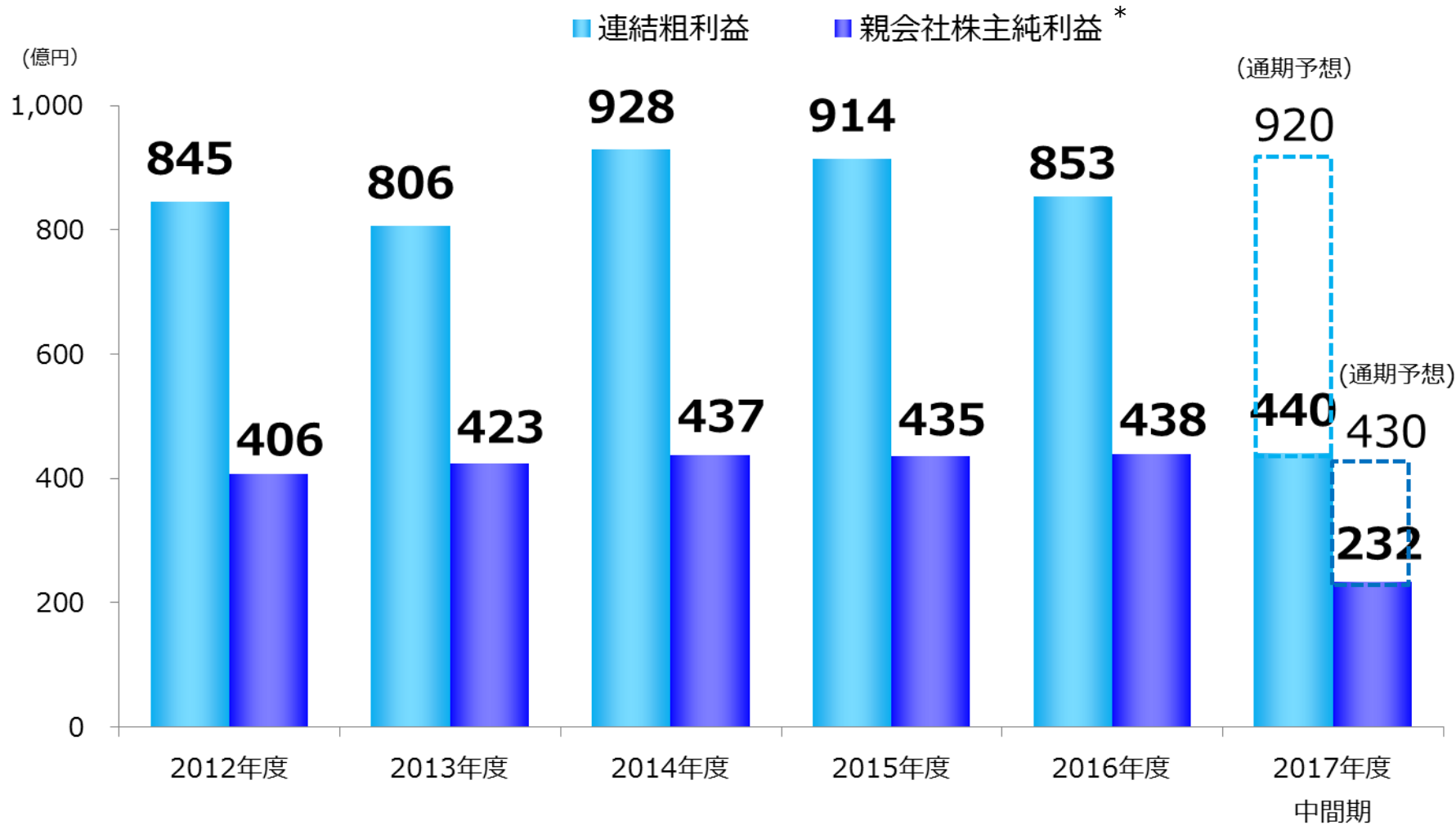
＜海外向け貸出残高＞

(最終リスク国が日本以外のもの)



2-3. 業績のポイント ①

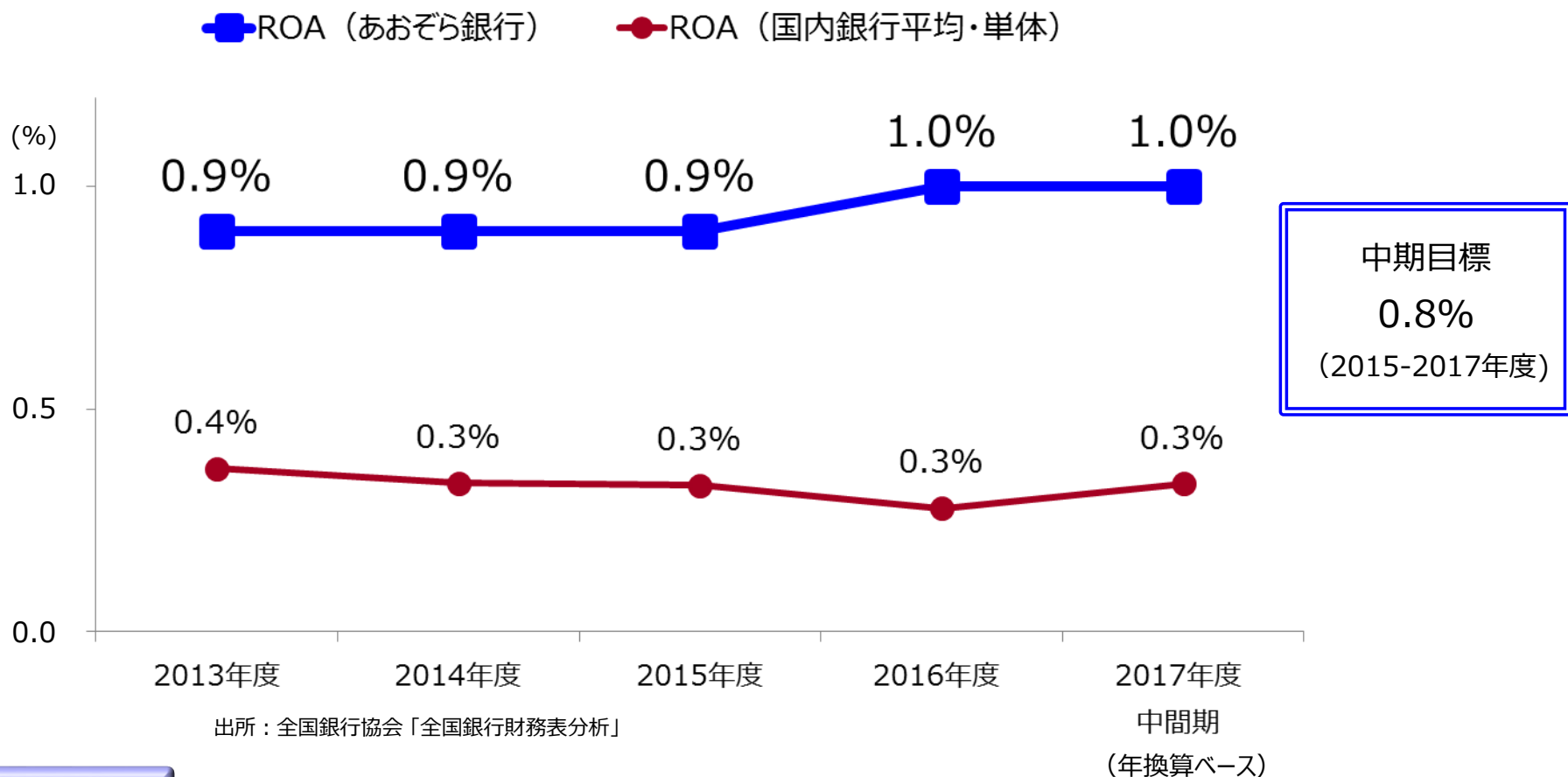
◆ 好調な業績推移 — 安定的に収益を計上 —



* 本資料においては、「親会社株主に帰属する当期純利益」を「親会社株主純利益」と記載しております

2-3. 業績のポイント ②

◆ 高い収益性 – 全国銀行平均を上回るROA –



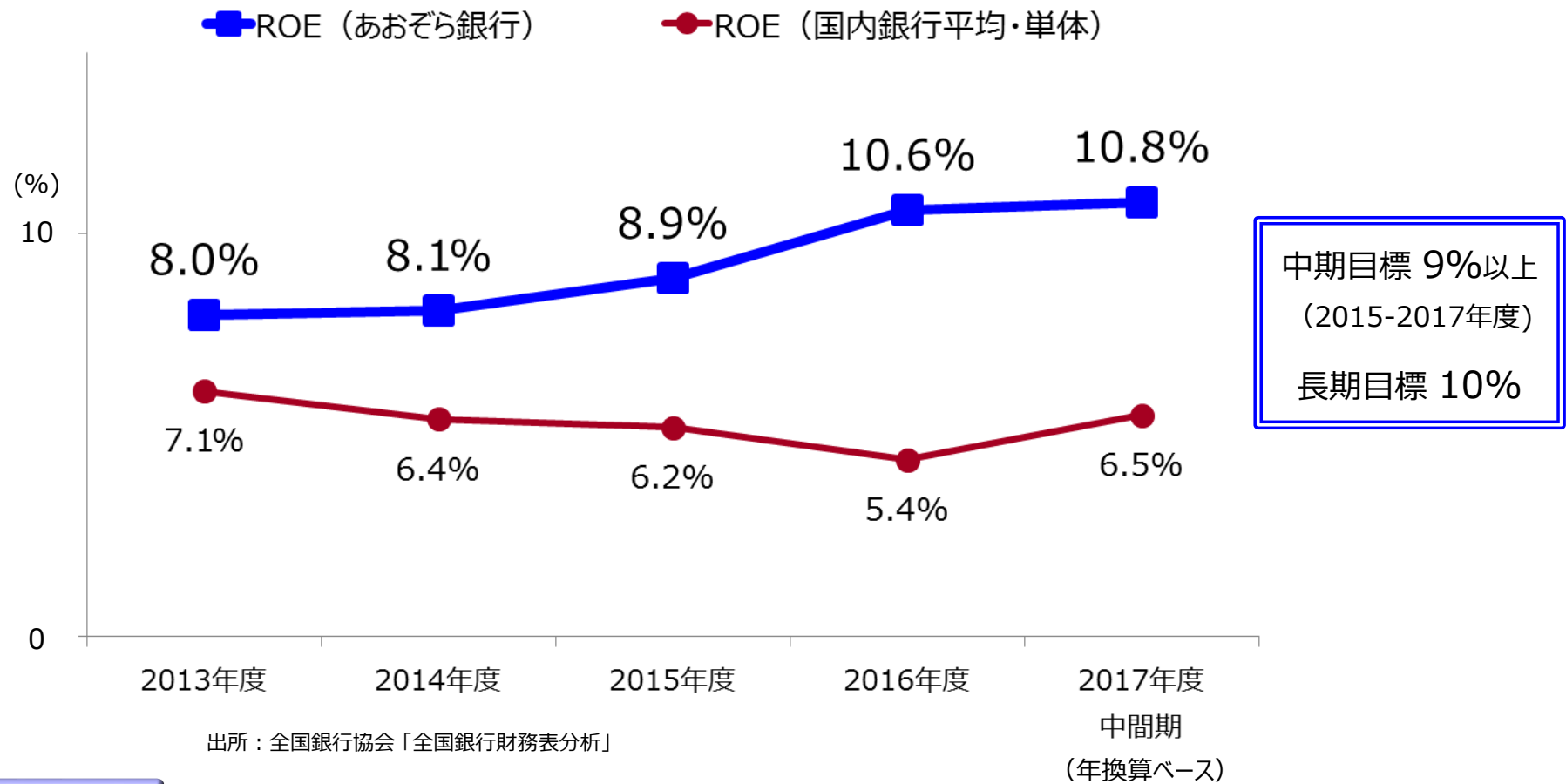
用語解説

ROA（総資産利益率）とは？

親会社株主純利益（国内銀行平均は当期純利益）を総資産で割ったもので、総資産をもとに、どれだけ利益を上げたかの効率性を示す。この比率が高いほど、収益性が高いことがわかる。

2-3. 業績のポイント ③

◆ 高い資本効率性 – ROEも高水準 –



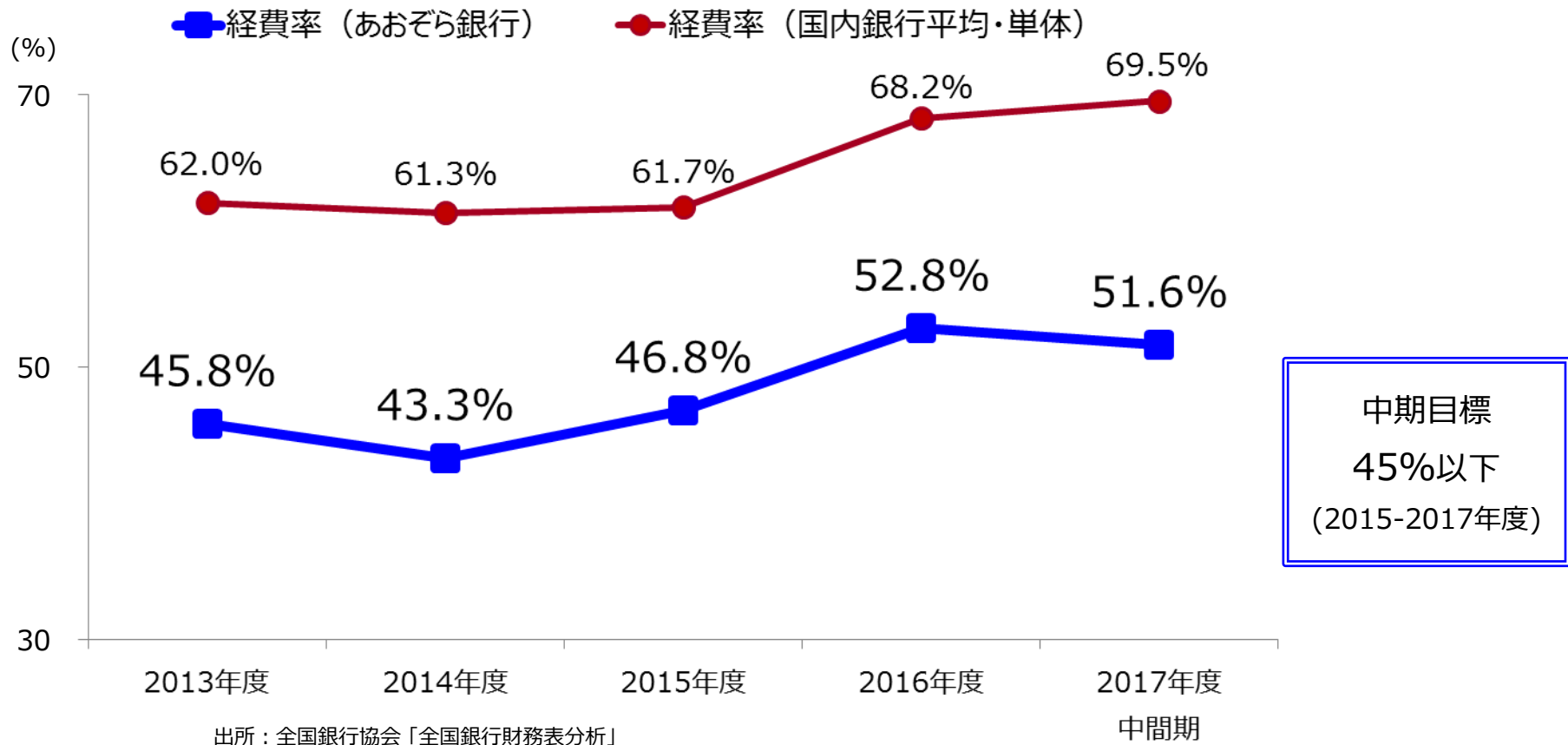
用語解説

ROE（自己資本利益率）とは？

親会社株主純利益（国内銀行平均は当期純利益）を純資産で割ったもので、株主資本をいかに効率的に活用して利益をあげているか、経営の効率性を示す。ROEが高いほど、効率的に株主資本を活用できていることになる。

2-3. 業績のポイント ④

◆ 効率的な業務運営 – 全国銀行平均を大幅に下回る経費率 –



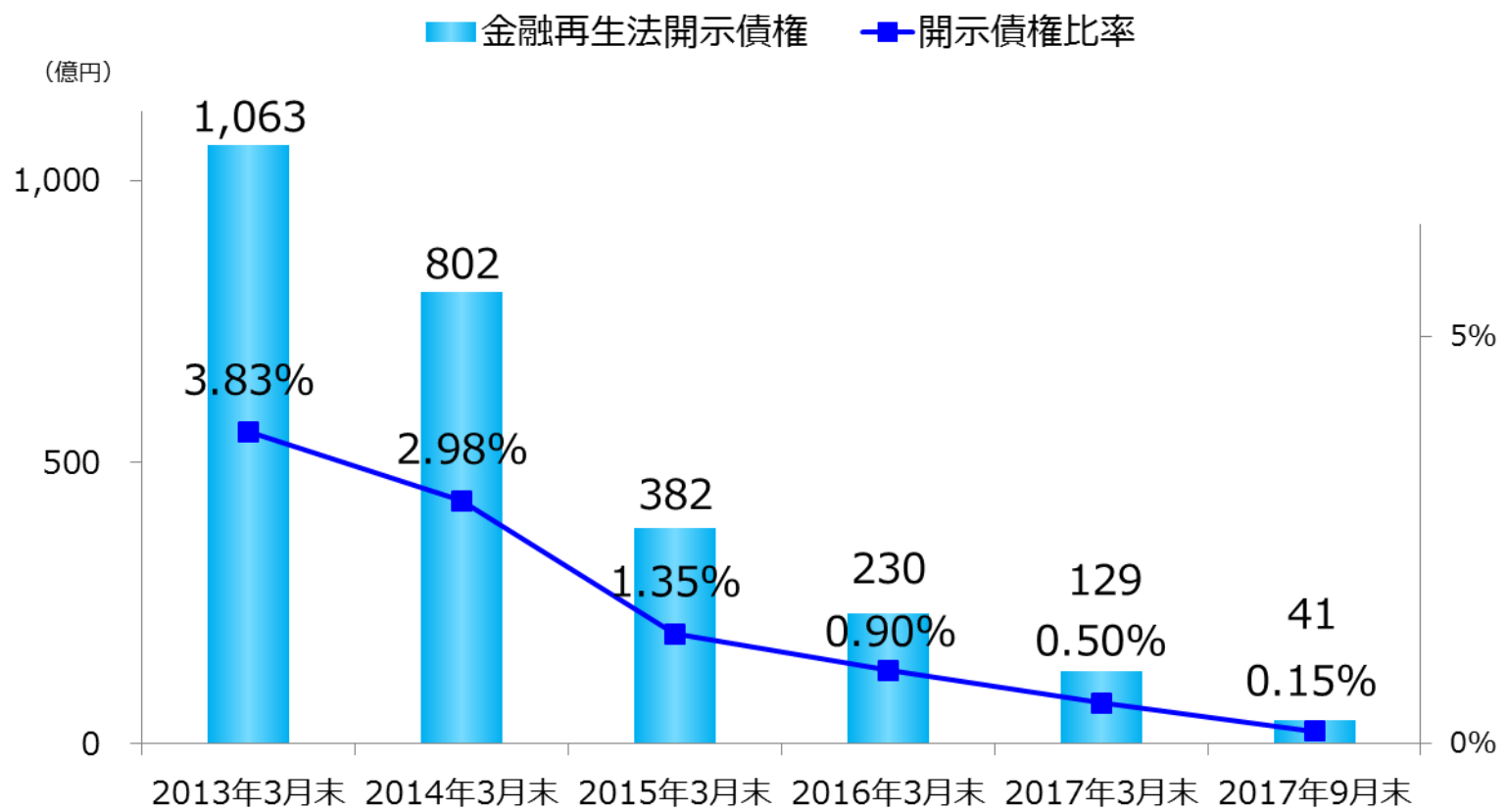
用語解説

経費率とは？

銀行業務の効率性を示す指標のひとつ。
経費の粗利益に対する比率を表し、比率が低いほど少ない経費で利益を上げていることを示す。

2-3. 業績のポイント ⑤

◆ 健全な資産

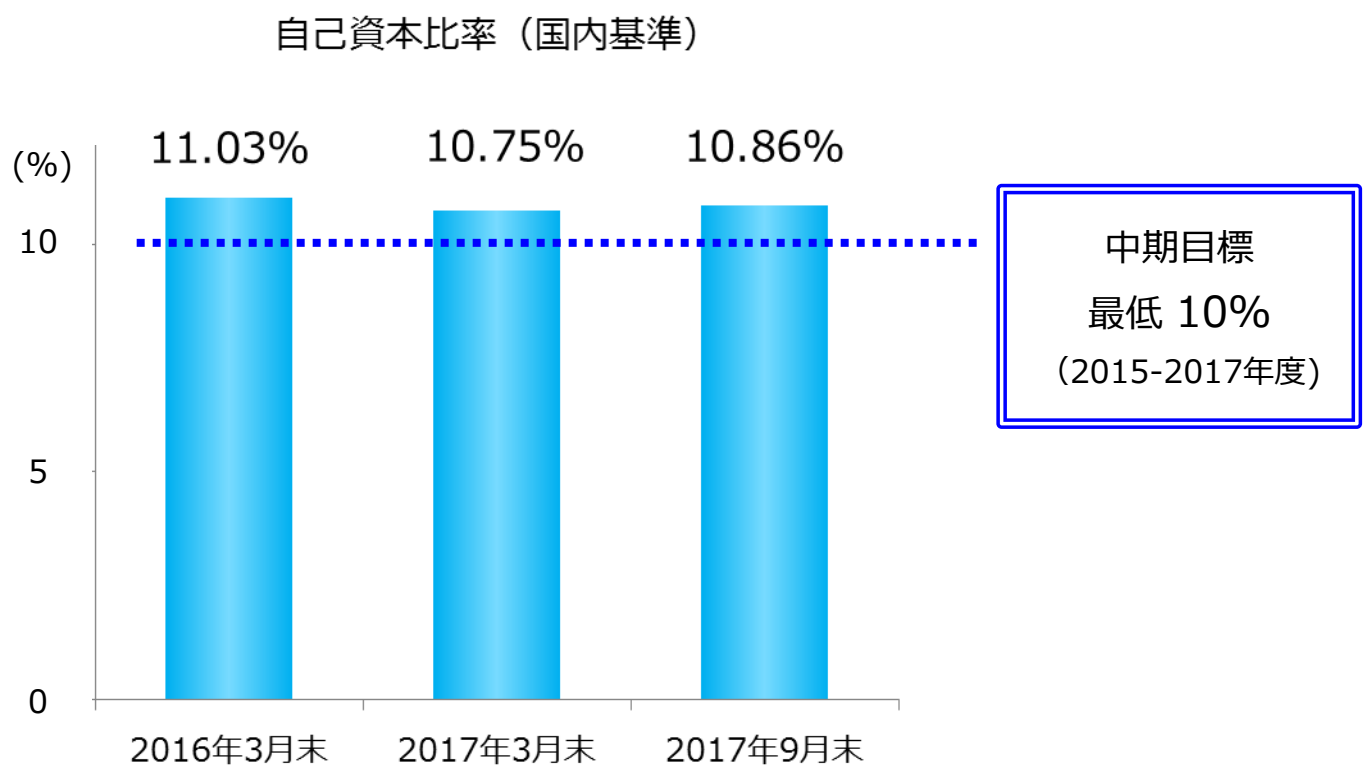


用語解説

金融法開示債権とは？

金融再生法に基づき、銀行が開示している不良債権額。開示債権比率は、銀行の総与信に対する金融再生法開示債権の割合を表し、比率が低い程、資産が健全であることを示す。

◆ 十分な自己資本



用語解説

自己資本比率とは？

保有するリスク資産*等に対する自己資本の割合で、銀行経営の健全性を判断する代表的な指標。
この比率が高いほど、健全性が高いことを示す。
* 銀行の場合、一般企業と異なり、貸倒れの可能性のある資産毎に一定のリスクウェイトを乗じて計算される。

2-4. 今後の運営・経営基盤強化

(1) 2017年度の目標

◆ 収益源の一層の多様化

- 連結粗利益の目標は2016年度計画と同水準

◆ 経費の効率運営

- インターネット銀行事業プロジェクトへの追加投資
- 引き続きコストコントロールに注力

◆ 安定的な親会社株主純利益

- 安定的な水準の確保に注力、2016年度計画と同額を目指す

(億円)

	2016年度		2017年度	
	通期予想	実績	4-12月期実績	通期予想
連結粗利益	920	853	694	920
親会社株主純利益	430	438	335	430

2-4. 今後の運営・経営基盤強化

(2) 将来に向けた経営基盤強化

① 本店ビル移転

◆ 2017年5月、四谷の新築ビルへ移転

- 危機管理、業務継続体制の強化
- 新しい環境構築による生産性の向上
- 働き方改革、ビジネスプロセス改革

◆ 上智大学との連携

- 「あおぞら上智シニア消費指数」の発表
- 連携講座「バンキング基礎演習」開講
- インターンシップ実施



(2) 将来に向けた経営基盤強化

② フィンテックに対する取組み

◆ 「GMOあおぞらネット銀行」の開業準備

- 2018年7月に事業開始予定
- eコマース事業者を含む中小企業・小規模事業者にフォーカス

◆ フィンテック専門チームによる取組み

- 個人業務の諸手続におけるペーパーレス化等
お客様の利便性の向上

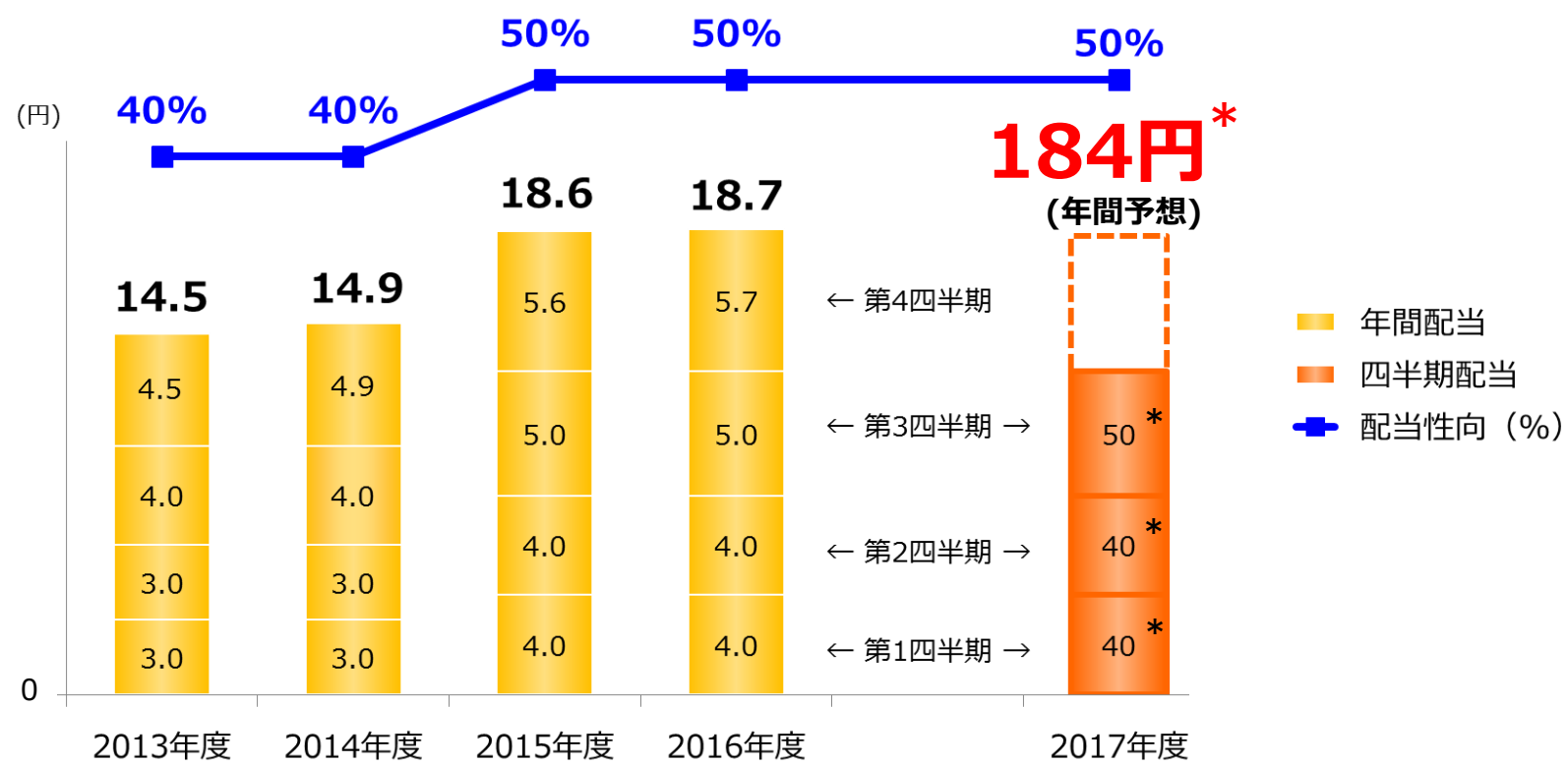
3. あおぞら銀行株式への投資の魅力

- 3-1. 配当政策
- 3-2. 配当利回り
- 3-3. 株主優待制度
- 3-4. 個人投資家の皆さまとのコミュニケーション
- 3-5. さいごに

3-1. 配当政策

◆ 業績に応じた配当による株主還元

- 配当性向は親会社株主純利益の**50%**
- **四半期配当**を継続



3-2. 配当利回り ①

◆ 高い配当利回り

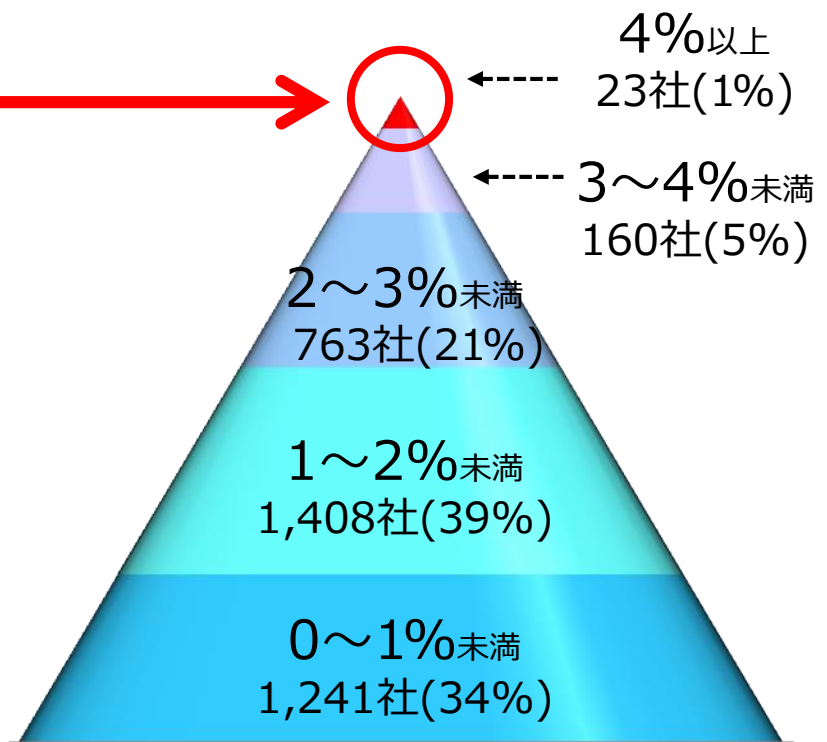
あおぞら銀行

配当利回り 4.16%

東証上場企業中 **上位20社以内**

予想配当利回り	全国銀行中 1位
四半期配当	全国銀行中 1行

< 上場企業の予想配当利回り >
2018年1月31日現在



* 東証上場企業3,595社対象（外国会社除く）。全国銀行は東証上場の銀行86行。

3-2. 配当利回り ②

◆ 株価推移

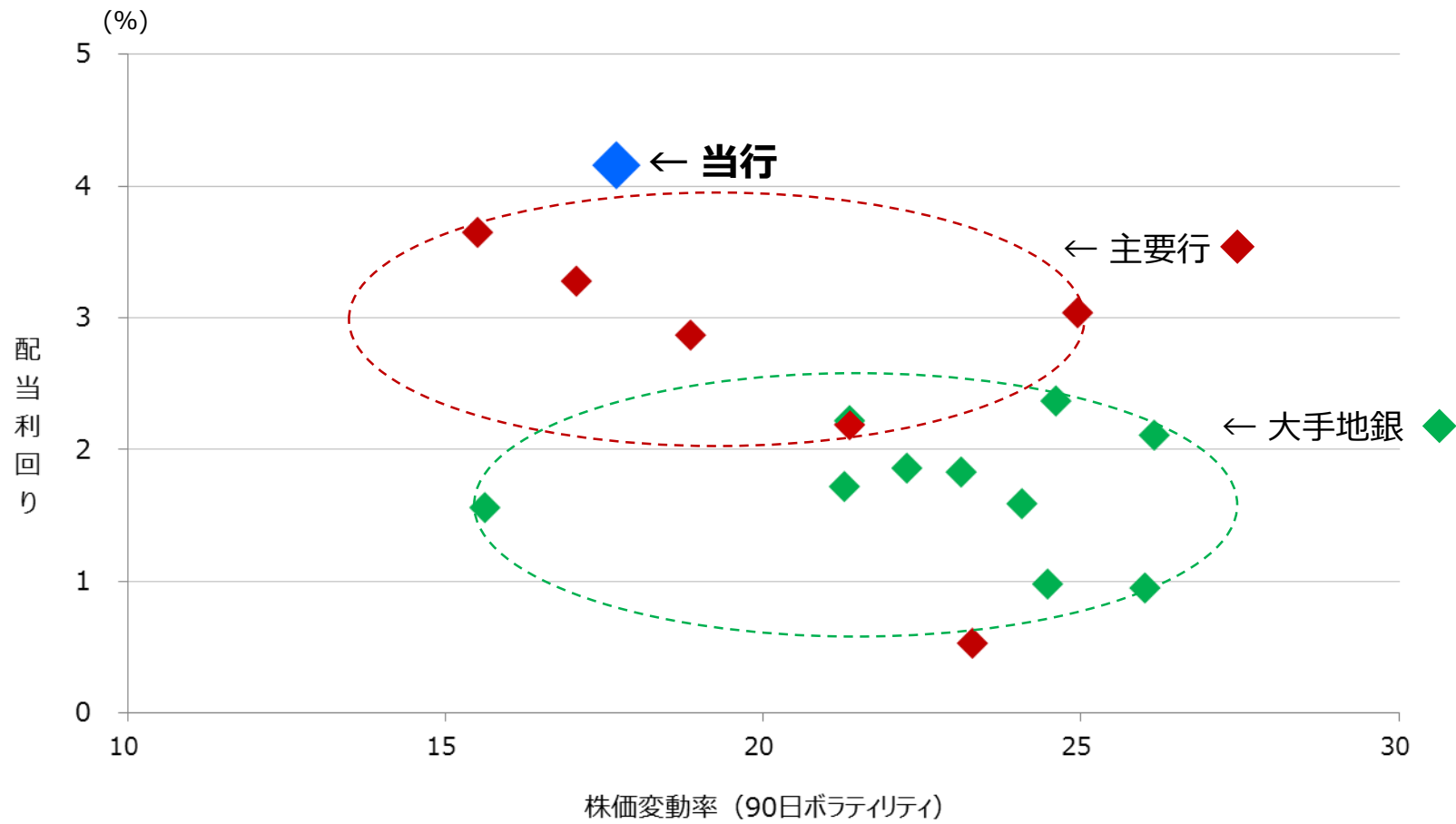
	2014/12/30 株価	2018/1/31 株価	変化率
あおぞら銀行	3,740	4,420	18.18%
日経平均	17,450.77	23,098.29	32.36%
TOPIX銀行	188.96	202.77	7.30%



* 2014/12/30の当行株価を基準に各株価を指数化(2017/10/1の株式併合を勘案)。2018/1/31現在

3-2. 配当利回り ③

◆ 主要行・大手地銀の株価変動率*と配当利回り



* 「株価変動率」は株価の変動性を示す指標で、所定期間内における日次の株価増減率の標準偏差
出所： Bloomberg (2018/1/31現在)
対象は主要行（三菱UFJFG、三井住友FG、みずほFG、りそなHD、三井住友トラストHD、新生銀行）ならびに大手地銀（時価総額上位10行）

3-3. 株主優待制度

◆ 対象取引別に商品券を贈呈

- 対象 保有株式1単元以上の株主さま
- 基準日 3月末、6月末、9月末、12月末
- 内容 以下の取引に商品券を贈呈（2017年9月末より拡充）

新設	円定期預金 (期間3ヶ月以上)	新規資金で500万円以上お預け入れ 頂いた株主さまに 商品券3,000円 贈呈
新設	金融商品仲介 (仕組債等) *1,2	ご購入金額に応じて 商品券2,000円～60,000円 を贈呈
	投資信託 *2	(購入金額100万円ごとに2,000円の商品券を贈呈)

*1 あおぞら証券からの委託を受けてあおぞら銀行がお客さまとあおぞら証券との取引をお取次ぎする商品。
ご購入の際はあおぞら証券に証券口座の開設が必要。

*2 金融商品仲介（仕組債等）と投資信託はどちらか一方の取引にのみ利用可で、株主優待券1枚につき、取引金額上限は3,000万円。

3-4. 個人投資家の皆さまとのコミュニケーション

◆ 個人投資家向け説明会を全国各地で開催



◆ 個人投資家の皆様にお伝えしたいこと

(1) 配当性向50%

(2017年度 配当予想：184円*)

(2) 四半期ベースでの配当支払い

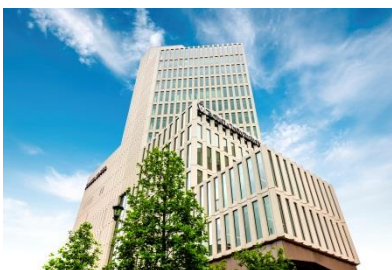
(3) 株主優待制度の拡充

(4) 個人投資家の皆さまとのコミュニケーション強化

* 2017/10/1の株式併合を勘案。2017年度の配当予想は期初に株式併合があったと仮定した金額。

**あおぞら銀行は、
進化する「頼れる、もうひとつのパートナーバンク」
を目指し、
株主さまのご負託に応える持続的な企業価値の向上
を実現してまいります**

AOZORA



ご参考資料

◆ 2017年度第3四半期決算 ①損益の状況

(単位：億円)

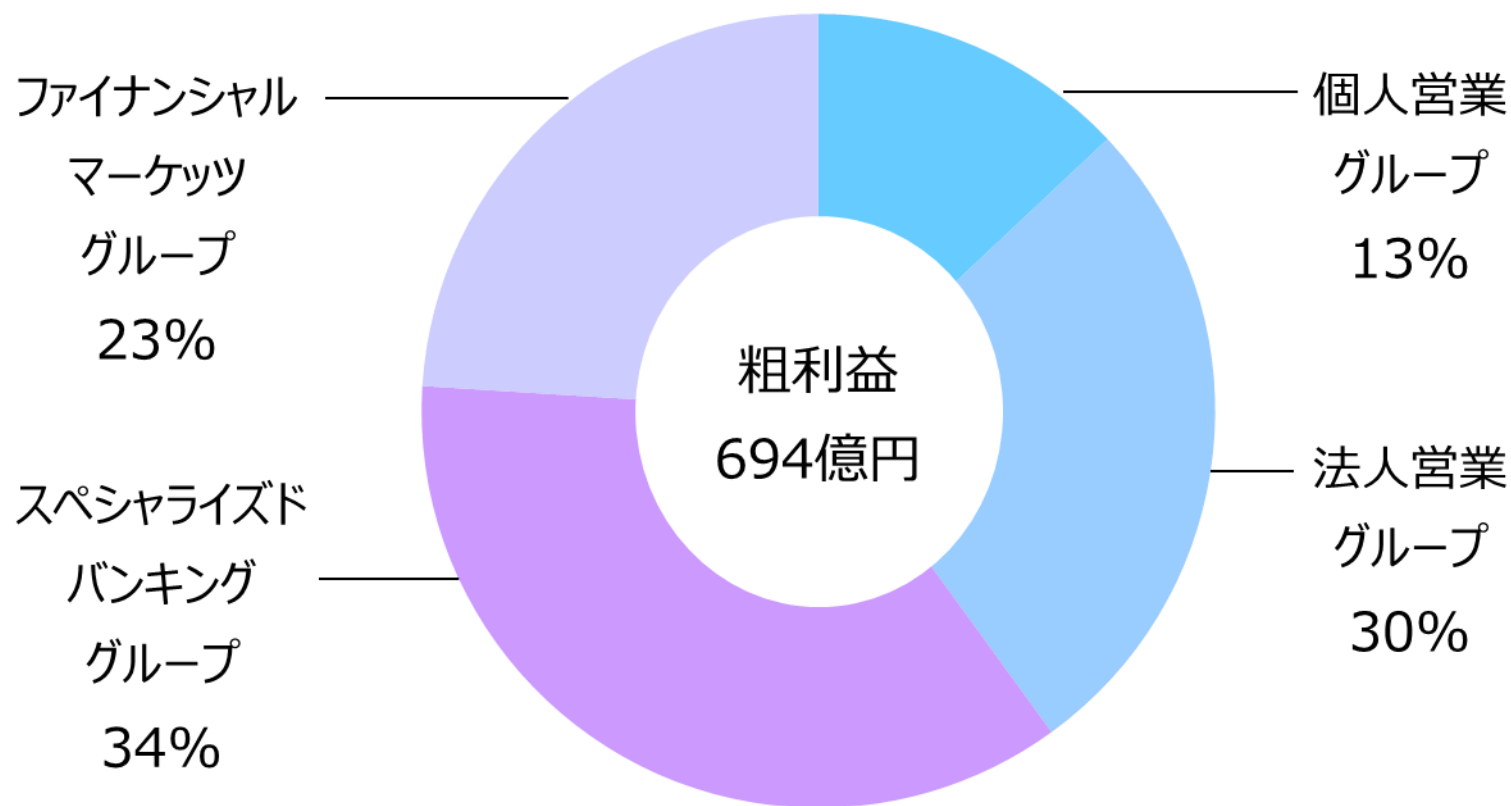
科目	2015年度	2016年度	2017年度	
			4-12月期	通期予想
連結粗利益	914	853	694	920
資金利益	498	456	378	—
役務取引等利益	115	93	85	—
特定取引利益	122	204	128	—
その他業務利益	179	99	103	—
経費	-428	-450	-340	-460
連結実質業務純益	486	403	354	460
与信関連費用	47	111	39	—
経常利益	557	518	462	565
親会社株主純利益	435	438	335	430

◆ 2017年度第3四半期決算 ②主要勘定の状況

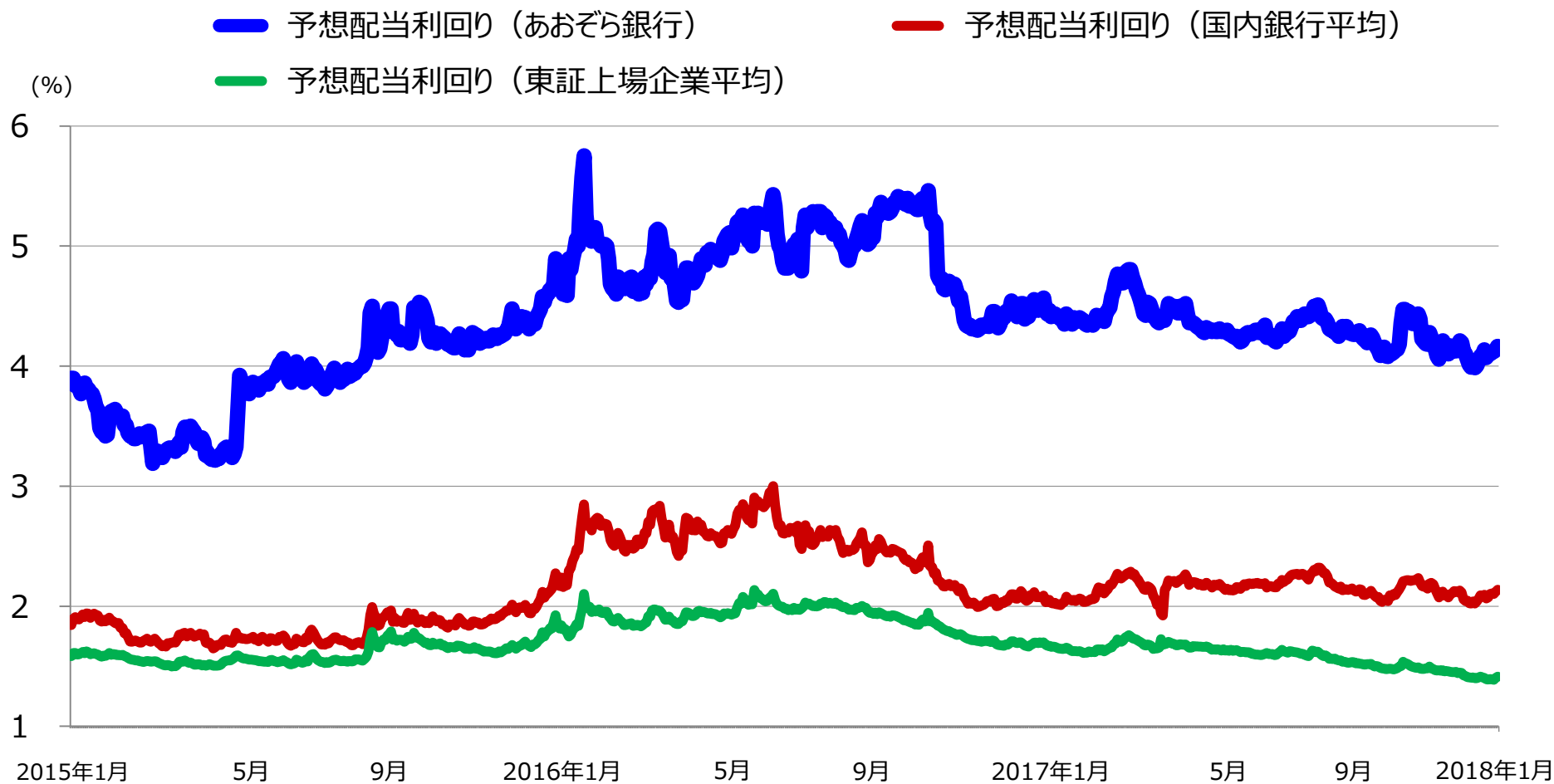
(単位：億円)

	2016年3月末	2017年3月末	2017年12月末
資産	45,929	45,860	49,169
貸出金	25,116	25,219	26,265
有価証券	9,235	9,379	11,726
負債	41,874	41,657	44,693
預金・譲渡性預金	29,321	28,531	29,558
債券・社債	2,595	2,463	2,501
純資産	4,055	4,203	4,476
資本金・資本剰余金	1,873	1,873	1,873
利益剰余金	1,998	2,219	2,395
負債・純資産	45,929	45,860	49,169

◆ 2017年度第3四半期決算 ③部門別実績



◆ 予想配当利回り推移



* 東証上場企業3,595社対象（外国会社除く）国内銀行は東証上場の銀行86行。2018/1/31現在

◆ 信用格付は格付会社3社からA格取得

格付会社		長期格付
格付投資情報センター	(R&I)	A-
日本格付研究所	(JCR)	A-
スタンダード&プアーズ	(S&P)	A-

(2017/9末)

◆ ホームページのご案内

いつも、あおぞらを。

 **あおぞら銀行** 金融機関コード:0398

よくあるご質問 | お問い合わせ先一覧 | サイトマップ | [ENGLISH](#)

文字サイズ 小 中 大 | キーワードを入力してください [検索](#)

[個人のお客さま](#) | [法人のお客さま](#) | [株主・投資家の皆さま](#) | [あおぞら銀行について](#) | [採用情報](#)

[トップページ](#) > [株主・投資家の皆さま](#) > [個人投資家の皆さまへ](#)

株主・投資家の皆さま

[個人投資家の皆さまへ](#)

- あおぞら銀行早分かり
- あゆみ
- プロフィール
- ネットワーク
- 目指す姿
- ビジネスモデル
- 注力業務
- 業績・財務のポイント
- 投資の魅力（株主還元）
- 個人投資家向け説明会
- あおぞら銀行株式のご購入について
- 経営方針・体制等
- IRライブラリ
- 株主関連情報
- IRカレンダー

個人投資家の皆さまへ

あおぞら銀行って、どんな銀行？

全国展開している、系列色のない中立的な銀行です。
メガバンクでも地域金融機関でもなく
ユニークで専門性の高い金融サービスを提供しています。

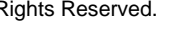
 あゆみ	 プロフィール	 ネットワーク
 あおぞら銀行早わかり	 目指す姿	 ビジネスモデル
 注力業務	 業績・財務のポイント	 投資の魅力（株主還元）



個人投資家向け説明会

個人投資家の皆さまに当行の事業内容や業績・成長戦略についてご理解を深めていただくとともに、当行の経営陣と直接コミュニケーションを持っていただく機会を設けるため、積極的に説明会を開催しております。

<http://www.aozorabank.co.jp/ir/individual/gaiyou/>



< ご連絡・ご照会先 >

**株式会社あおぞら銀行
コーポレートコミュニケーション部**

電話: 03-6752-1111 (代表)

URL: <http://www.aozorabank.co.jp>

当資料には、当行の財務状況や業績など将来の見通しに関する事項が含まれています。こうした事項には当行における将来予想や前提が含まれており、一定のリスクや不確実性が生じる場合があります。具体的には、経済情勢の変化や金利・株式相場・外国為替相場の変動、およびそれらに伴う保有有価証券の価格下落、与信関連費用の増加、事務・法務その他リスクの管理規則の有用性などにより、実際の結果とは必ずしも一致するものではありません。